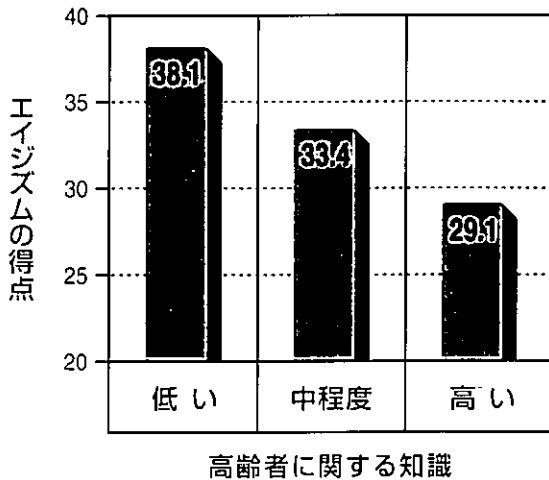


次に、調査結果から、高齢者に対する偏見・差別の程度を示す「エイジズム得点」を計算し（得点が高いほど偏見・差別が強いことを示す）、高齢者に関する知識（22項目のクイズ）との関連を検討してみました（図11）。その結果、年齢・学歴・従業上の地位といった個人特性の影響を調整し

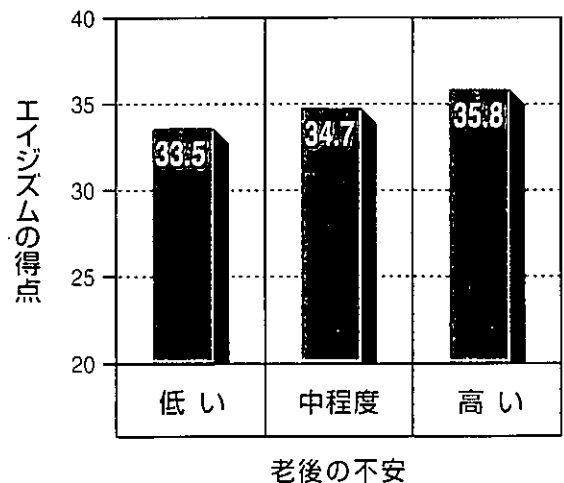
ても、高齢者に関する知識が低い人ほど偏見・差別が強い傾向が確認されました。この結果は、先にも述べたように、高齢者に対する正しい知識を持つことが、高齢者に対する差別や偏見を解消するために重要であることを裏づけています。



(図11) 高齢者に関する知識とエイジズムの関連



さらに、老後不安感とエイジズムの関連を検討した結果、生活費不足や寝たきりといった老後生活の不安感が高い人ほど、高齢者に対する差別・偏見が強い傾向が確認されました（図12）。この結果は、高齢者に対する正しい知識だけでなく、年金や介護保険といった老後の生活保障に関する情報提供も、エイジズムを解消するために必要であることを示しています。



(図12) 老後不安感とエイジズムの関連

調査の概要

調査方法

東京都の区市部、千葉県・神奈川県・埼玉県の市部に居住する25～39歳の男性3,000人を層化2段無作為抽出した。調査は2003年1～2月に郵送配布・訪問回収・自記式法によって実施し、回収率は43.0%(1,289人)であった。

研究組織

【桜美林大学】

柴田 博(研究リーダー)

杉澤 秀博

原田 謙

山田 嘉子

塚原 陽子

【共同研究者】

杉原 陽子(東京都老人総合研究所)

黒澤 昌子(政策研究大学院大学)

樋口 美雄(慶応義塾大学)

横山 博子(つくば国際大学)

秋山 弘子(東京大学)

R50

古紙配合率50%再生紙を使用しています

平成15年7月発行

若年者における職業生活とエイジズム

「若年者の就労と高齢者に対する意識調査」の結果報告

編集・発行／桜美林大学加齢・発達研究所

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758

☎042-797-2661(代表) 内線:3355

デザイン／松下 園子

〒140-0003 東京都品川区八潮5-6-32-1205 ☎03-3790-3757

印刷／(有)ストリームス

〒112-0005 東京都文京区水道2-6-4 S-80X ☎03-5977-2821